
法 適 用 企 業

全事業の概況

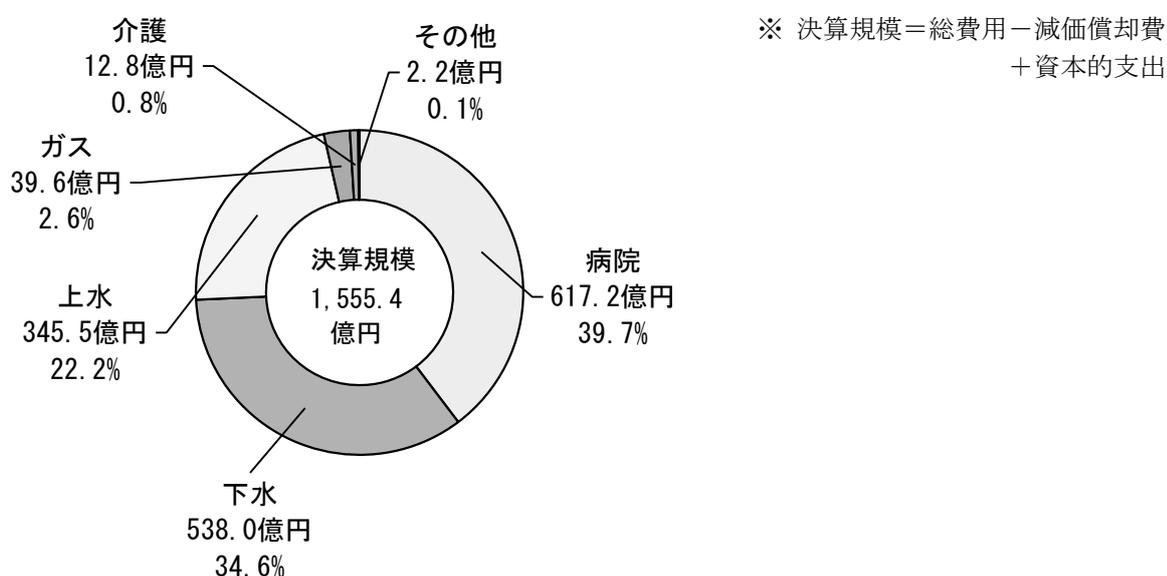
1 事業規模

令和4年度の市町および一部事務組合が経営する法適用企業の数、前年度から増減なく、53事業であった。

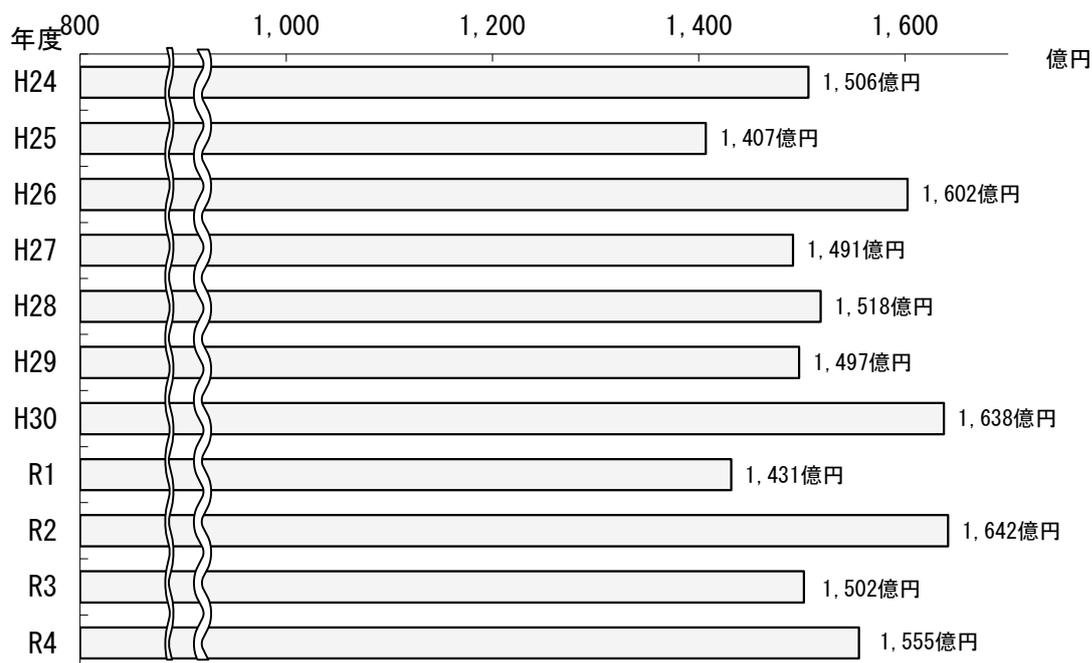
事業別では、上水道事業19事業、下水道事業19事業、病院事業10事業、ガス事業1事業、介護サービス事業3事業、その他事業1事業となっている。

令和4年度の決算規模は1,555億35百万円で、前年度に比べ53億55百万円、3.6%の増加となっている。

第1図 決算規模でみた地方公営企業の状況



第2図 決算規模の推移



2 経営状況

(1) 収益的収支

令和4年度の総収支の状況をみると、黒字事業は50事業（前年度48事業）、赤字事業は3事業（前年度5事業）となっている。赤字事業の内訳は、介護サービス事業3事業となっている。

総収益は1,422億13百万円で、前年度（1,439億42百万円）に比べ17億29百万円（1.2%）減少し、総費用は1,289億29百万円で、前年度（1,268億30百万円）に比べ20億99百万円（1.7%）増加している。この結果、純損益（純利益－純損失）は前年度より38億29百万円減少し、132億84百万円の黒字となっている。また、総収支比率は110.3%と前年度より3.2ポイント下落している。

収益的収支のうち経常収支の状況をみると、経常収益は1,417億7百万円で前年度（1,425億1百万円）に比べ7億94百万円（0.6%）減少、経常費用が1,284億9百万円で前年度（1,265億25百万円）に比べ18億84百万円（1.5%）増加しており、経常収支比率は110.4%と前年度（112.6%）より2.2ポイント下落している。

第 1 表 収益的収支の状況

（単位：千円、%）

項目	年度	R3 (A)	R4 (B)	対前年度比較	
				(B) - (A) (C)	(C)/(A)
総 収 益		143,942,403	142,213,321	△ 1,729,082	△ 1.2
経 常 収 益		142,501,197	141,707,309	△ 793,888	△ 0.6
営 業 収 益		101,145,572	103,596,255	2,450,683	2.4
営業収益（受託工事収益除く）		100,609,093	103,048,037	2,438,944	2.4
総 費 用		126,829,532	128,929,159	2,099,627	1.7
経 常 費 用		126,524,974	128,408,597	1,883,623	1.5
単 年 度 純 利 益		17,241,752	13,354,947	△ 3,886,805	△ 22.5
純 損 失		128,881	70,785	△ 58,096	△ 45.1
単 年 度 経 常 利 益		16,102,738	13,369,257	△ 2,733,481	△ 17.0
経 常 損 失		126,515	70,545	△ 55,970	△ 44.2
累 積 欠 損 金		24,047,661	19,988,631	△ 4,059,030	△ 16.9
不 良 債 務		106,045	-	△ 106,045	△ 100.0
総 収 支 比 率		113.5	110.3	△ 3.2	△ 2.8
経 常 収 支 比 率		112.6	110.4	△ 2.2	△ 2.0
営業収益 に対する 比率	単年度欠損金比率	0.1	0.1	-	-
	累積欠損金比率	23.9	19.4	△ 4.5	△ 18.8
	不良債務比率	0.1	-	△ 0.1	△ 100.0
事 業 数		53	53	-	-
単年度欠損金のある事業数		5	3	△ 2	△ 40.0
累積欠損金のある事業数		12	11	△ 1	△ 8.3
不良債務のある事業数		1	-	△ 1	△ 100.0
赤業					
字数 等の 割合 の割 事合	単年度欠損金のある事業	9.4	5.7	△ 3.7	△ 39.4
	累積欠損金のある事業	22.6	20.8	△ 1.8	△ 8.0
	不良債務のある事業	1.9	-	△ 1.9	△ 100.0

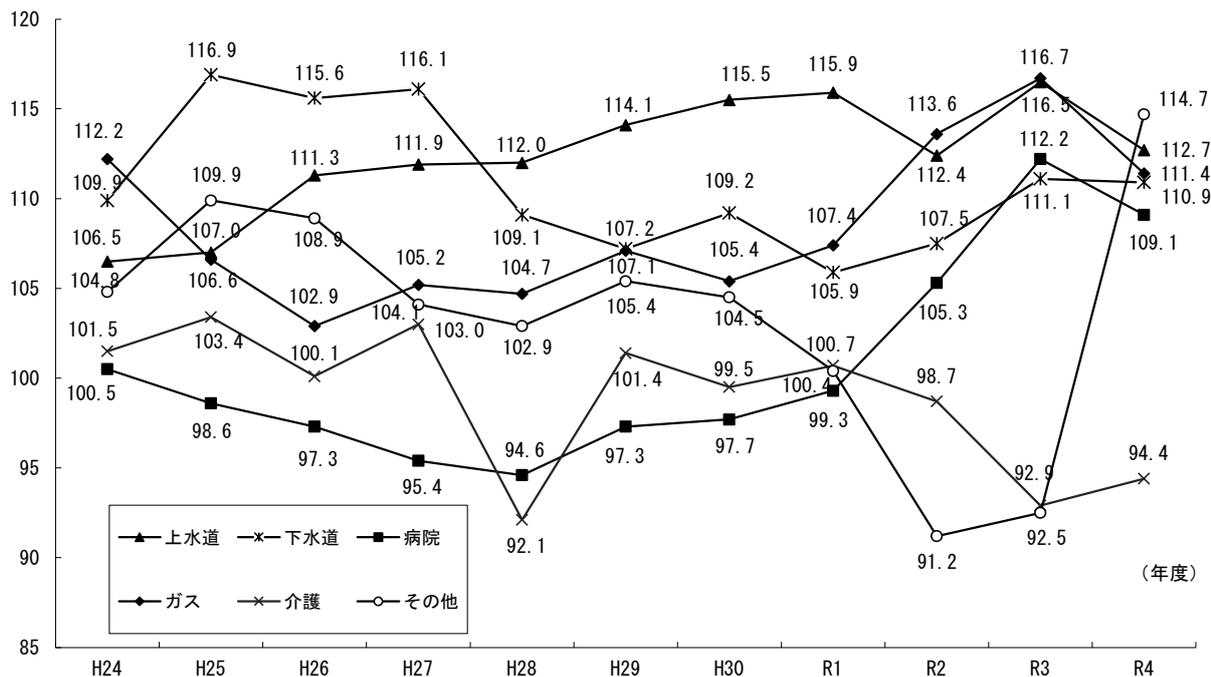
第 2 表 事業別収益的収支の状況

(単位：千円、%)

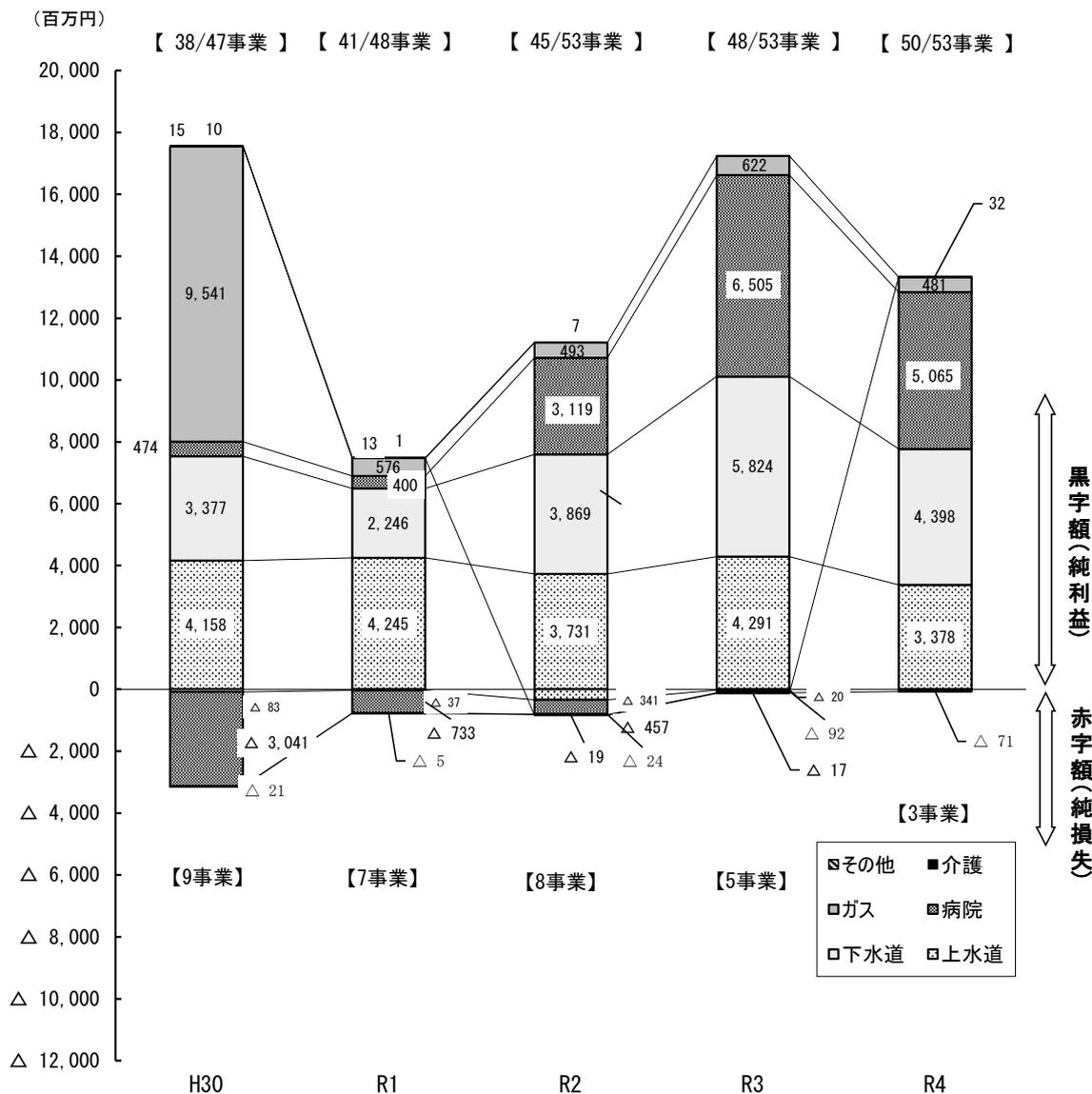
事業 項目	全事業	上水道	下水道	病院	ガス	介護サービス	その他
総 収 益	142,213,321	30,358,190	45,565,672	60,743,005	4,085,053	1,202,100	259,301
経 常 収 益	141,707,309	30,101,371	45,521,694	60,627,757	4,007,786	1,189,400	259,301
営 業 収 益	103,596,255	25,383,658	24,598,538	48,509,385	3,916,781	1,009,234	178,659
営業収益(受託工事収益除く)	103,048,037	25,275,749	24,573,357	48,509,385	3,501,653	1,009,234	178,659
総 費 用	128,929,159	26,980,007	41,167,375	55,677,631	3,604,218	1,272,885	227,043
経 常 費 用	128,408,597	26,705,883	41,058,733	55,561,848	3,596,134	1,259,945	226,054
単年度純利益	13,354,947	3,378,183	4,398,297	5,065,374	480,835	-	32,258
純損失	70,785	-	-	-	-	70,785	-
単年度経常利益	13,369,257	3,395,488	4,462,961	5,065,909	411,652	-	33,247
経常損失	70,545	-	-	-	-	70,545	-
累積欠損金	19,988,631	182,087	303,599	19,213,334	-	289,611	-
不良債務	-	-	-	-	-	-	-
総収支比率	110.3	112.5	110.7	109.1	113.3	94.4	114.2
経常収支比率	110.4	112.7	110.9	109.1	111.4	94.4	114.7
営業収益 に対する 比率	単年度欠損金比率	0.1	-	-	-	7.0	-
	累積欠損金比率	19.4	0.7	1.2	39.6	28.7	-
	不良債務比率	-	-	-	-	-	-
事業数	53	19	19	10	1	3	1
単年度欠損金のある事業数	3	-	-	-	-	3	-
累積欠損金のある事業数	11	1	1	7	-	2	-
不良債務のある事業数	-	-	-	-	-	-	-
赤業 字数 等の 割合 事合	単年度欠損金のある事業	5.7	-	-	-	100.0	-
	累積欠損金のある事業	20.8	5.3	5.3	70.0	66.7	-
	不良債務のある事業	-	-	-	-	-	-

(%)

第 3 図 事業別経常収支比率の推移



第4図 収益的収支における黒字額・赤字額の推移



(2) 資本的収支

資本的支出は664億85百万円で、前年度(632億53百万円)に比べ32億32百万円(5.1%)増加している。

その内訳は、企業債償還金(元金)が394億32百万円で全体の59.3%を占め、次いで建設改良費が265億2百万円(全体の39.9%)となっている。

資本的支出に対する財源は、損益勘定留保資金等の内部資金が350億13百万円(資本的支出に対する割合52.7%)
企業債等の外部資金が314億42百万円(同47.3%)となっている。

第 3 表 資本的収支の推移

(単位：千円、%)

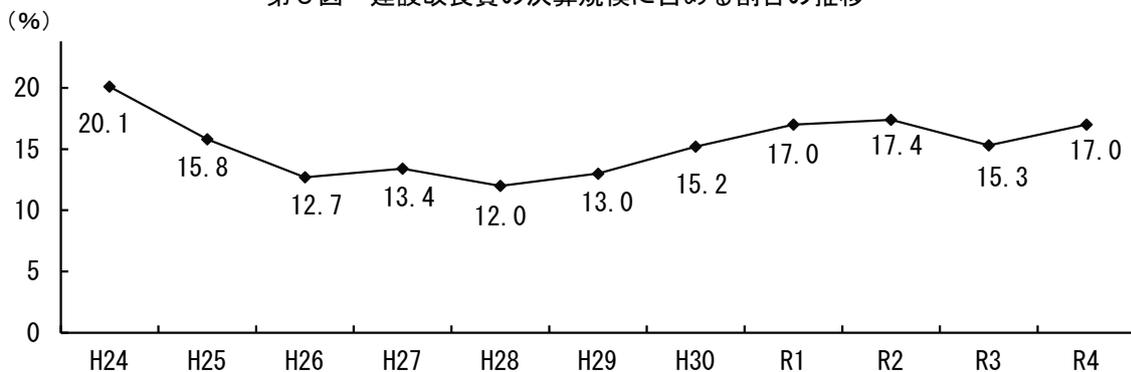
項目	年度	R3 (A)	R4 (B)	対前年度比較	
				(B) - (A) (C)	(C)/(A)
資本的支出					
建設改良費		22,910,458	26,501,978	3,591,520	15.7
企業債償還金		39,663,144	39,431,792	△ 231,352	△ 0.6
その他		679,626	551,840	△ 127,786	△ 18.8
計		63,253,228	66,485,610	3,232,382	5.1
上部財源		62,839,730	66,455,151	3,615,421	5.8
補填財源不足額		413,498	30,459	△ 383,039	△ 92.6
当年度同意等債で未借入または未発行の額		17,100	9,500	△ 7,600	△ 44.4
実質補填財源不足額		396,398	20,959	△ 375,439	△ 94.7

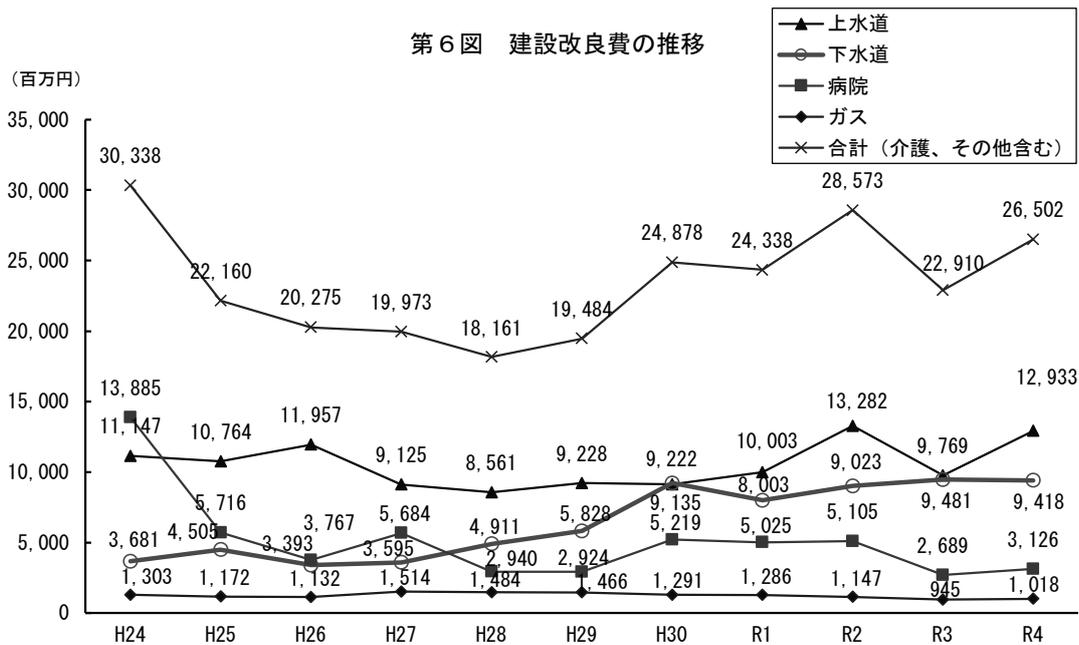
第 4 表 事業別資本的収支

(単位：千円)

項目	事業	全事業	上水道	下水道	病院	ガス	介護サービス	その他
資本的支出								
建設改良費		26,501,978	12,933,076	9,417,557	3,125,982	1,018,057	7,306	-
企業債償還金		39,431,792	5,655,385	27,355,819	6,351,592	-	63,592	5,404
その他		551,840	27,470	4,772	119,598	400,000	-	-
計		66,485,610	18,615,931	36,778,148	9,597,172	1,418,057	70,898	5,404
上部財源								
内部資金		35,012,842	12,412,648	17,828,648	3,749,128	971,178	45,836	5,404
外部資金		31,442,309	6,203,283	18,936,141	5,830,944	446,879	25,062	-
企業債		16,358,800	4,297,500	9,935,600	2,125,700	-	-	-
他会計出資金等		8,888,049	725,192	5,718,694	2,419,101	-	25,062	-
その他		6,195,460	1,180,591	3,281,847	1,286,143	446,879	-	-
計		66,455,151	18,615,931	36,764,789	9,580,072	1,418,057	70,898	5,404
補填財源不足額		30,459	-	13,359	17,100	-	-	-
当年度同意等債で未借入または未発行の額		9,500	-	9,500	-	-	-	-
実質補填財源不足額		20,959	-	3,859	17,100	-	-	-

第 5 図 建設改良費の決算規模に占める割合の推移





3 料金収入

令和4年度の料金収入は952億34百万円で、前年度（927億4百万円）に比べ25億30百万円（2.7%）増加している。

料金収入の大きい主な事業は、病院事業が462億80百万円（料金収入の48.6%）で最も大きく、次いで上水道事業245億64百万円（同25.8%）、下水道事業232億43百万円（同24.4%）となっており、これら3事業で98.8%を占めている。

なお、総収益に占める料金収入の割合は67.0%（前年度64.4%）となっており、総収益に占める料金収入の割合が大きな事業は、介護サービス事業で82.6%（前年度85.3%）と最も大きく、次いで上水道事業で80.9%（同81.6%）となっている。

第5表 事業別料金収入の推移

（単位：千円、%）

項目	年度		対前年度比較	
	R3 (A)	R4 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	24,697,569 (81.6%)	24,564,389 (80.9%)	△ 133,180	△ 0.5
下水道	23,231,656 (49.2%)	23,243,472 (51.0%)	11,816	0.1
病院	43,670,944 (71.8%)	46,279,747 (76.2%)	2,608,803	6.0
ガス	848 (0.0%)	780 (0.0%)	△ 68	△ 8.0
介護サービス	1,013,543 (85.3%)	992,544 (82.6%)	△ 20,999	△ 2.1
その他	89,878 (43.7%)	153,237 (59.1%)	63,359	70.5
計	92,704,438 (64.4%)	95,234,169 (67.0%)	2,529,731	2.7

※（ ）内の数値は、総収益に占める料金収入比率

4 企業債現在高

令和4年度末における企業債の現在高は3,836億84百万円で、前年度（4,064億98百万円）に比べ228億14百万円（5.6%）減少している。

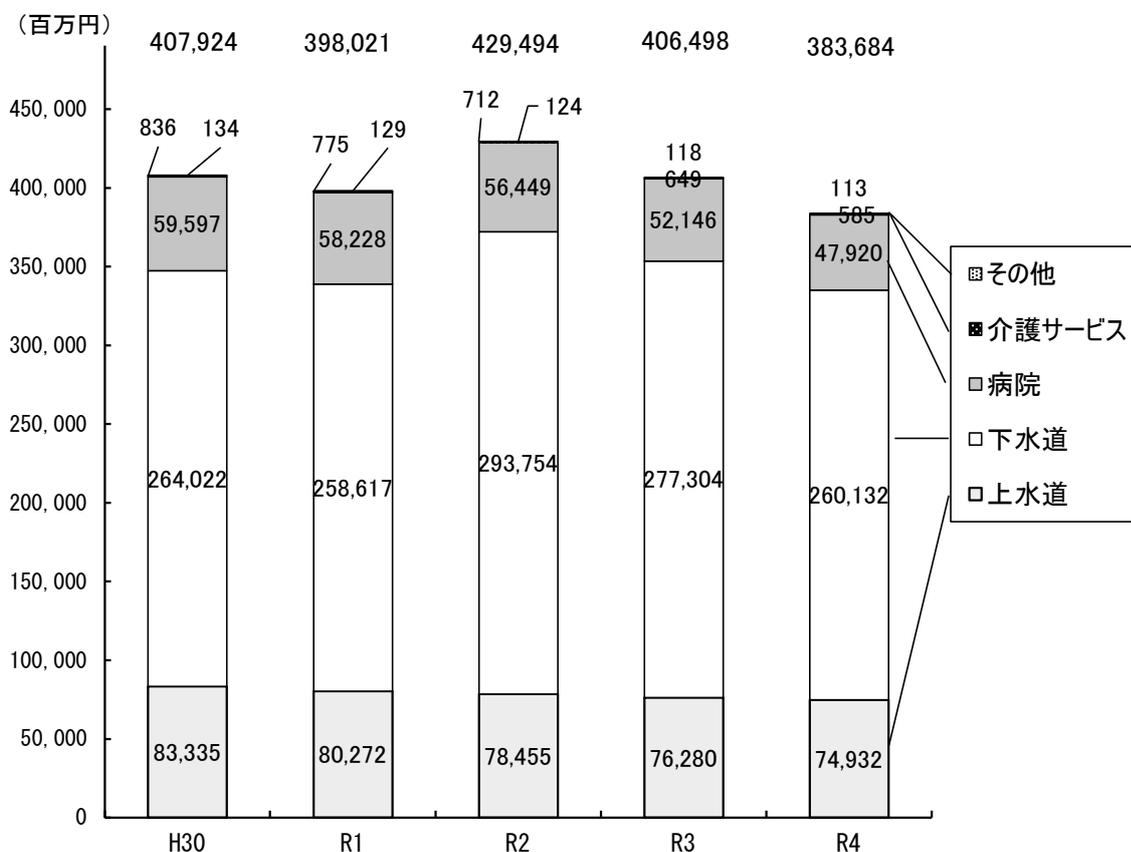
企業債現在高が大きい主な事業は、下水道が2,601億32百万円（全体の67.8%）で最も大きく、次いで上水道事業749億32百万円（同19.5%）、病院事業479億20百万円（同12.5%）となっており、これら3事業で99.8%を占めている。

第 6 表 事業別企業債残高の推移

（単位：千円、%）

項目	年 度		対前年度比較	
	R3 (A)	R4 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上 水 道	76,279,843	74,932,466	△ 1,347,377	△ 1.8
下 水 道	277,304,215	260,132,488	△ 17,171,727	△ 6.2
病 院	52,146,372	47,920,479	△ 4,225,893	△ 8.1
ガ ス	-	-	-	-
介護サービス	648,663	585,072	△ 63,591	△ 9.8
その他	118,494	113,091	△ 5,403	△ 4.6
計	406,497,587	383,683,596	△ 22,813,991	△ 5.6

第 7 図 事業別企業債現在高の推移



5 他会計繰入金

地方公営企業に対しては地方公営企業法等に基づき他会計からの繰入れが行われており、令和4年度繰入額は251億37百万円で、前年度（254億70百万円）に比べ3億33百万円（1.3%）減少している。

この内訳をみると、収益的収入への繰入金が162億49百万円、資本的収入への繰入金が88億88百万円となっており、前年度に比べ収益的収入への繰入れは4億66百万円（2.8%）減少しており、資本的収入への繰入れでは1億33百万円（1.5%）増加している。

繰入額が大きい主な事業は、下水道事業で168億78百万円（全体の67.1%）で最も多く、次いで病院事業66億49百万円（同26.5%）となっている。

第 7 表 事業別他会計繰入金

(単位：千円、%)

年度 項目	R3 (A)	R4 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	1,190,341	1,365,502	175,161	14.7
下水道	17,299,614	16,878,455	△ 421,159	△ 2.4
病院	6,791,582	6,648,891	△ 142,691	△ 2.1
ガス	3,843	4,244	401	10.4
介護サービス	111,640	166,721	55,081	49.3
その他	72,594	73,260	666	0.9
計	25,469,614	25,137,073	△ 332,541	△ 1.3

第 8 表 収益的収入への他会計繰入金

(単位：千円、%)

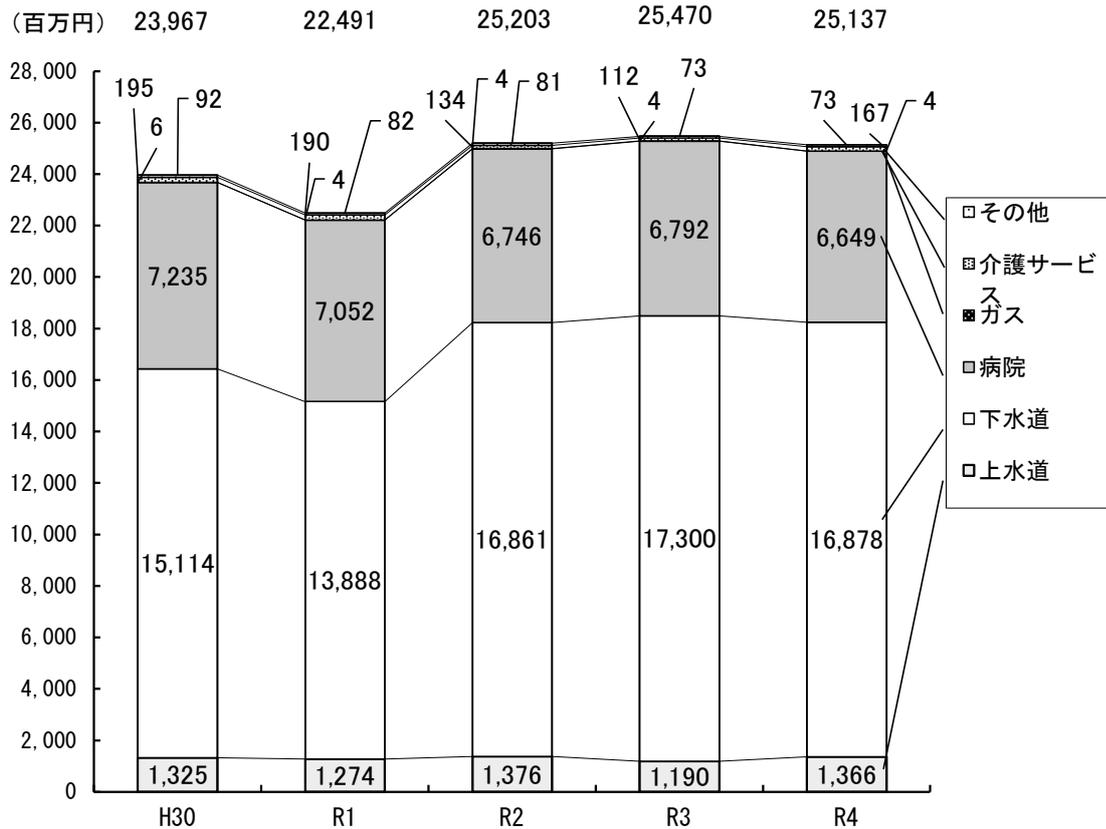
年度 項目	R3 (A)	R4 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	558,774	640,310	81,536	14.6
下水道	11,583,766	11,159,761	△ 424,005	△ 3.7
病院	4,383,950	4,229,790	△ 154,160	△ 3.5
ガス	3,843	4,244	401	10.4
介護サービス	111,640	141,659	30,019	26.9
その他	72,594	73,260	666	0.9
計	16,714,567	16,249,024	△ 465,543	△ 2.8

第 9 表 資本的収入への他会計繰入金

(単位：千円、%)

年度 項目	R3 (A)	R4 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	631,567	725,192	93,625	14.8
下水道	5,715,848	5,718,694	2,846	-
病院	2,407,632	2,419,101	11,469	0.5
ガス	-	-	-	-
介護サービス	-	25,062	25,062	-
その他	-	-	-	-
計	8,755,047	8,888,049	133,002	1.5

第8図 他会計繰入金の推移



6 累積欠損金

累積欠損金とは、営業活動によって欠損を生じた場合に、繰越利益剰余金、利益積立金、資本剰余金等により補填が出来なかった各事業年度の損失（赤字）額が累積されたものである。

令和4年度末において累積欠損金を有する事業数は11事業である。

また、累積欠損金の額は199億89百万円で、前年度（240億48百万円）に比べ40億59百万円（16.9%）減少している。

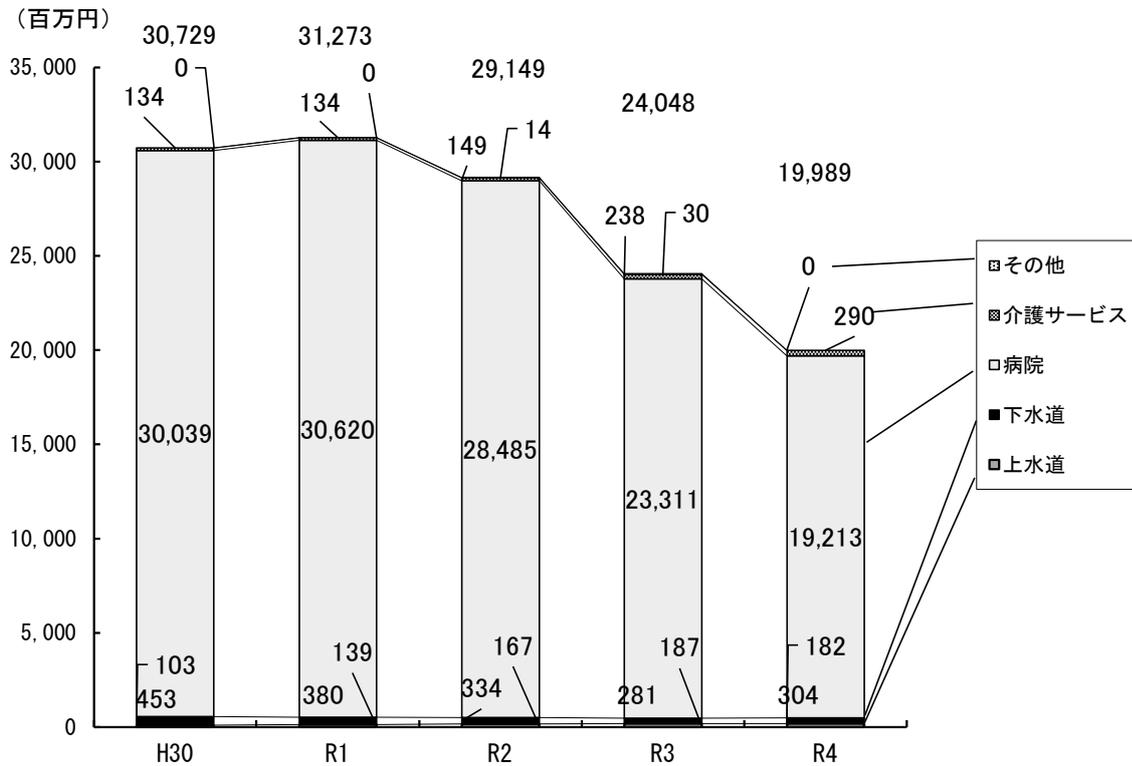
累積欠損金を有する事業の占める割合が大きい事業は、病院事業が7事業で192億13百万円（累積欠損金合計額の96.1%）を占めている。

第10表 累積欠損金の状況

(単位：千円、%)

項目	年度		対前年度比較	
	R3 (A)	R4 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	186,986	182,087	△ 4,899	△ 2.6
下水道	280,983	303,599	22,616	8.0
病院	23,311,217	19,213,334	△ 4,097,883	△ 17.6
ガス	-	-	-	-
介護サービス	238,089	289,611	51,522	21.6
その他	30,386	-	△ 30,386	△ 100.0
計	24,047,661	19,988,631	△ 4,059,030	△ 16.9

第9図 累積欠損金の推移



7 不良債務

不良債務とは、貸借対照表日現在において、流動負債（建設改良の財源に充てる企業債を除く）の額が流動資産の額（翌年度へ繰り越される支出の財源充当額を差し引いた額）を超える額である。

令和4年度末において不良債務を有する事業はない。

(単位：千円、%)

項目	年度	R3 (A)	R4 (B)	対前年度比較	
				(B) - (A) (C)	(C)/(A)
病院		106,045	-	△ 106,045	△ 100.0
計		106,045	-	△ 106,045	△ 100.0